



## 2026年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年12月12日

上場会社名 グローバルスタイル株式会社 上場取引所 東

コード番号 7126 URL <https://www.global-style.jp/corporate/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田城 弘志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 名本 育広 TEL 06-6206-2711

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無: 無

決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年7月期第1四半期の業績 (2025年8月1日～2025年10月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第1四半期	2,244	7.4	△207	—	△194	—	△147	—
2025年7月期第1四半期	2,089	10.9	△184	—	△175	—	△150	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年7月期第1四半期	円 銭 △43.70	円 銭 —
2025年7月期第1四半期	円 銭 △45.42	円 銭 —

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年7月期第1四半期	8,347		2,650		31.8	
2025年7月期	7,459		2,911		39.0	

(参考) 自己資本 2026年7月期第1四半期 2,650百万円 2025年7月期 2,911百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年7月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 33.00	円 銭 33.00
2026年7月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2026年7月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定です。

### 3. 2026年7月期の業績予想 (2025年8月1日～2026年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,588	9.8	850	6.0	866	5.4	533	5.9	159.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年7月期 1Q	3,502,744株	2025年7月期	3,502,744株
② 期末自己株式数	2026年7月期 1Q	127,738株	2025年7月期	127,738株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年7月期 1Q	3,375,006株	2025年7月期 1Q	3,313,506株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期貸借対照表に関する注記)	5
(四半期損益計算書に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調なインバウンド需要等を背景に、緩やかな回復傾向が続きました。一方で、原材料価格の高騰や円安に伴う物価上昇、不安定な国際情勢、米国の通商政策や金融市場の変動など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属するオーダースーツ業界におきましても、円安による商品原価の上昇や消費者の節約志向の高まりの影響は大きく、厳しい事業環境が続いております。

こうした状況の下、当社におきましては、「Enjoy Order すべてのお客様にオーダーメイドを楽しんでいただく」のコンセプトのもと、事業を推進してまいりました。具体的には、新規出店や新商品・サービスの開発に加え、新たなマーケティング施策である「ガチスーツ」の発信に取り組んでおります。

まず、当第1四半期累計期間における新規出店といたしましては、10月に「GINZA Global Style COMFORT 吉祥寺店」を出店いたしました。当該店舗はオープンより多くのお客様にご来店いただいており、順調なスタートを切ることができております。この新規出店を含め、当第1四半期会計期間末の店舗数は40店舗となりました。

さらに、新たなオーダー商品といたしまして、レディスブラウスとメンズダウンコートの販売を開始いたしました。これらのコーディネート商品を加えることで、既存顧客様への新たなご提案に加え、新規顧客の開拓にも取り組んでまいります。

加えて、旺盛なインバウンド需要に対応するため、新サービスとして「免税・海外配送サービス」を本格的に開始いたしました。免税システムの導入、オフィシャルサイトの多言語対応、英語対応できるスタッフの店舗配置などの施策を講じることにより、海外のお客様の取り込みを積極的に行ってまいります。

また、当社は新たなマーケティング施策として、「その場にふさわしい一着」を「ガチスーツ」と定義し、会社のプレゼンやプロポーズ、結婚式などの「勝負時（ガチ）」の場面で着用するスーツとして訴求しております。この施策では、ショートドラマを作成し、SNS等で配信することで、若年層顧客の獲得とブランド認知の拡大に取り組んでまいりました。その結果、ショートドラマの視聴回数は1,000万回再生を超える多くの反響をいただいております。

以上のような取り組みの結果、売上高につきましては、22億44百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、上記の新規出店に伴い、人件費や地代家賃、広告宣伝費等の経費が増加したことから14億39百万円（同8.4%増）となりました。

損益面につきましては、営業損失2億7百万円（前年同期は営業損失1億84百万円）、経常損失1億94百万円（前年同期は経常損失1億75百万円）、法人税等△47百万円を計上した結果、四半期純損失1億47百万円（前年同期は四半期純損失1億50百万円）となりました。

なお、当社が営むオーダースーツの販売事業は、事業の性質上売上高に季節的変動があり、他の四半期会計期間に比べ、第1四半期会計期間の売上高の割合が低くなる傾向があります。

当社はオーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ8億88百万円増加し、83億47百万円となりました。

流動資産につきましては、前事業年度末に比べ8億3百万円増加し、45億52百万円となりました。主な変動要因は、売掛金が4億11百万円、商品及び製品75百万円、仕掛品が79百万円、原材料及び貯蔵品が1億84百万円増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、新規出店により前事業年度末に比べ84百万円増加し、37億95百万円となりました。

#### (負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ11億49百万円増加し、56億96百万円となりました。

流動負債につきましては、前事業年度末に比べ11億87百万円増加し、47億29百万円となりました。主な変動要因は、前受金が6億34百万円及び短期借入金が3億70百万円、買掛金が2億90百万円増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前事業年度末に比べ38百万円減少し、9億67百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が43百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ2億60百万円減少し、26億50百万円となりました。主な変動要因は、四半期純損失を1億47百万円計上し、前期の期末配当1億11百万円を実施したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期通期の業績予想につきましては、2025年9月12日の「2025年7月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	669,793	706,572
売掛金	323,714	735,353
商品及び製品	209,474	285,299
仕掛品	60,248	140,019
原材料及び貯蔵品	2,368,565	2,553,472
その他	127,055	146,240
貸倒引当金	△10,504	△14,827
流动資産合計	3,748,345	4,552,129
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,619,768	1,635,482
その他（純額）	992,147	997,449
有形固定資産合計	2,611,916	2,632,932
無形固定資産	111,691	109,476
投資その他の資産		
敷金	872,218	870,698
その他	115,016	182,598
投資その他の資産合計	987,235	1,053,297
固定資産合計	3,710,842	3,795,705
資産合計	7,459,188	8,347,835
<b>負債の部</b>		
流动負債		
買掛金	292,322	582,814
短期借入金	1,680,000	2,050,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	174,788	174,788
未払法人税等	185,209	1,786
契約負債	204,720	208,920
前受金	467,136	1,101,310
賞与引当金	—	35,066
役員賞与引当金	35,000	—
災害損失引当金	43,121	43,121
その他	439,347	511,210
流动負債合計	3,541,645	4,729,017
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	547,190	503,493
退職給付引当金	58,651	60,483
資産除去債務	234,464	238,801
その他	155,722	155,096
固定負債合計	1,006,028	967,873
負債合計	4,547,673	5,696,891
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
資本剰余金	134,687	134,687
利益剰余金	2,758,983	2,500,120
自己株式	△63,972	△63,972
株主資本合計	2,909,698	2,650,836
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	1,816	108
評価・換算差額等合計	1,816	108
純資産合計	2,911,514	2,650,944
負債純資産合計	7,459,188	8,347,835

## (2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2024年8月1日 至2024年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自2025年8月1日 至2025年10月31日)
売上高	2,089,033	2,244,346
売上原価	945,643	1,012,029
売上総利益	1,143,390	1,232,317
販売費及び一般管理費	1,328,214	1,439,508
営業損失 (△)	△184,823	△207,191
営業外収益		
受取利息	120	1,303
受取配当金	76	76
為替差益	1,304	–
賃貸料収入	20,837	23,541
物品売却収入	2,757	–
その他	365	2,586
営業外収益合計	25,461	27,506
営業外費用		
支払利息	7,667	7,110
為替差損	–	206
賃貸収入原価	6,134	6,834
物品購入費用	1,451	–
その他	674	691
営業外費用合計	15,927	14,842
経常損失 (△)	△175,289	△194,527
特別損失		
減損損失	27,280	0
事務所移転費用	7,240	–
特別損失合計	34,520	–
税引前四半期純損失 (△)	△209,810	△194,527
法人税、住民税及び事業税	1,705	2,000
法人税等調整額	△61,022	△49,041
法人税等合計	△59,317	△47,040
四半期純損失 (△)	△150,492	△147,487

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期貸借対照表に関する注記)

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行9行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2025年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年10月31日)
当座貸越極度額	6,000,000千円	6,000,000千円
借入実行残高	1,680,000	2,050,000
差引額	4,320,000	3,950,000

## (四半期損益計算書に関する注記)

当社が営むオーダースーツの販売事業は、事業の性質上売上高に季節的変動があり、他の四半期会計期間に比べ、第1四半期会計期間の売上高の割合が低くなる傾向があります。

## (四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自2024年8月1日 至2024年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自2025年8月1日 至2025年10月31日)
減価償却費	61,035千円	62,876千円

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社は、オーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。